



概要説明



市街地から車で15分の距離にあるダンバラ高原（公園）には、リフト1基のなだらかな斜面のスキー場がある。子供やスキー初中級者に広く愛されたスキー場だが、機材老朽化のため、閉鎖の危機を迎えている。また、室蘭市では地元の子供やシニアの方が健康維持のため、野外で活動できるアクティビティやイベントが不足している。そして、観光客が参加できるアクティビティがほとんどないことが課題であった。

＜解決アイデアの内容＞ 次の事業所を設立し、アクティビティを提供する。

事業所名：【ACTRAN】（アクトラン） ※ACTIVITY in MURORANの略造語



- 【きっかけ】
- 2018年4月22日室蘭まちづくり会議に参加（登別室蘭青年会議所主催）
室蘭をPRしたい「どんな観光コース？」のグループワークを行った。その中で、室蘭には素晴らしい景色や、山や海の幸があることが分かった。
 - 室蘭駅とS.Lを使ったまちづくり検討委員会に参加。
室蘭には歴史があるが、人口が減少し子供たちや市民が多く集まる歴史公園がないことが分かった。その中で、だんばらスキー場が来場客の減少などによる閉鎖危機にあることを知った。
 - 8月にダンバラ高原のボランティア活動で小学生のキャンプに行った。100人の定員が申込開始後15分で埋まったと聞き、小学生の間でキャンプ等の宿泊をするイベントがとても人気であることが分かった。
 - 室蘭市内でアンケート調査を実施
 【街頭アンケート結果】
 男女数⇒16人135人 年代⇒10代10%, 20代8%, 30代4%, 40代18%, 50代18%, 60代28%, 70代以上18%
 【小学生の長期休みの過ごし方】⇒（多数意見のまとめ） 長期休みに参加したいイベントが大半にはない⇒行事など小学生の楽しみを見ることが少ないと回答した
 【シニア層の健康維持についての質問】⇒（多数意見のまとめ） 自分の健康に関心があり、健康づくりのイベントに参加したい、しかし現在そのようなイベントには参加していない、運動は自分のペースで行いたい、週1〜2回参加してみたい、参加者とコミュニケーションがとりたい。
 ①アクティビティの参加頻度はどのくらいですか？
 ②アクティビティの参加したい理由は何ですか？
 ③アクティビティの参加したい理由は何ですか？
 ④アクティビティの参加したい理由は何ですか？
 ⑤アクティビティの参加したい理由は何ですか？
 ⑥アクティビティの参加したい理由は何ですか？
 ⑦アクティビティの参加したい理由は何ですか？
 ⑧アクティビティの参加したい理由は何ですか？
 ⑨アクティビティの参加したい理由は何ですか？
 ⑩アクティビティの参加したい理由は何ですか？



- ホテルでのヒアリングを行った。
ドミーインの副支配人作田健人さん ルートイン室蘭の責任者の田村咲さん サンルート室蘭副支配人齋藤展男さん
- 【市役所・ホテルのヒアリングより】
- だんばらスキー場にはどのような魅力があるのかを市の職員の方を交えてディスカッションをすると数多くの魅力があり、冬のスキーだけではなく様々な体験ができるレジャー施設として活用することができるといった。独自の都市近郊体験型レジャー施設として他のスキー場と差別化を図ることができると考えた。
 - 室蘭には外国人観光客（特に中国・韓国・台湾）が増えてきており、ホテルの需要が高まっている。最近では温泉付きの宿泊費の高いホテルより、安く手軽に宿泊できるビジネスホテルを利用する観光客が増えてきているとのこと。室蘭市内にはビジネスホテルが多数あり、施設数も近年で増加している。登別や洞爺湖の温泉ホテルとはニーズを切り離し、ビジネスホテル宿泊・体験型観光地として室蘭を売り込むことを考えた。
 - 室蘭在住フォトグラファターの関浩勝さんにお話頂いた際、室蘭には中心部から車で20分以内の場所にフォトジェニックなスポットがたくさんあり、だんばらスキー場からみる夜空の星は天文業界で注目されているほどの景色だと教わった。また、室蘭天文協会の方が「だんばらからの眺めは素晴らしい全国から注目されていて、このまま閉鎖にしてしまうのはもったいない」とのこと。この景色は集客のためのアピールポイントになると確信した。
 - 現在のスキー場運営費の1145万円を次の事業に充てることができると伺った。



市街地から車で15分というアクセスの良さと、アクティビティ・イベントを実施するエリアを集約することにより、手軽に訪れることができ、活気のあるポイントを形成することができると考える。